

- 森林は様々な公益的機能を有しているが、その機能を十分に発揮するには、森林の適正な整備と保全が欠かせない。しかし手入れ不足の森林の増加が課題となっている。また、林班図が現況と異なっていることや森林簿の整備が不十分であるため、森林の所有者や境界が不明である森林が多いことが大きな課題となっている。
- 既存資料を活用し、林業適地を選定するとともに森林整備・保全のため、林地台帳の精度向上に有用な基礎資料を作成し、今後の森林整備・保全の方針を定めることを目的に森林整備実施計画を策定した。

□ 事業内容

森林整備実施計画・筆界候補図の作成

【事業費】 11,880千円（うち譲与税11,141千円）

【実績】

- ・ 森林整備・保全のため、林地台帳の精度向上に有用な基礎資料として森林筆界候補図を作成。
- ・ 既存資料を活用し、森林の現状を把握し、今後の森林整備・保全のため、森林整備実施計画を作成。

□ 取組の背景

- ・ 林地台帳が更新がされていない。
- ・ 森林の適正な整備と保全が欠かせないが手入れ不足の森林が多くなっている。



□ 工夫・留意した点

- ・ 公図データ・登記情報及び林班図の整合。
- ・ 森林環境譲与税を有効活用する森林整備手法。

□ 取組の効果

- ・ 林地台帳の更新、精度向上に有用な基礎資料として森林筆界候補図を作成。
- ・ 森林整備実施計画による今後の森林整備方針策定。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：28,128千円	②私有林人工林面積（※1）：96ha	
③林野率（※1）：11.6%	④人口（※2）：264,642人	⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 八尾市では、森林巡視道沿いにナラ枯れや風水害により倒れた木が歩行の障害となっている。
- このため、危険木の撤去の取組を実施。

□ 事業内容

森林巡視道の危険木撤去

- 【事業費】 468千円（うち譲与税468千円）。
- 【実績】 森林巡視道において倒木9本を撤去。

□ 取組の背景

- ・ ナラ枯れや風水害により倒木が発生。



（着手前）



（撤去後）

□ 工夫・留意した点

- ・ 市職員により、適宜森林巡視道を点検調査に努めた。

□ 取組の効果

- ・ 危険木の撤去を行うことにより森林巡視道の歩行安全を確保した。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：28,128千円	②私有林人工林面積（※1）：96ha	
③林野率（※1）：11.6%	④人口（※2）：264,642人	⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 都市部に位置している八尾市では、森林環境譲与税を活用し、公共施設における木材の利用促進を図っていく方針。市が整備する公共建築物においては、可能な限り木材の利用を促進し、市民の目に触れる機会が多いものを中心に木製品の導入に努める。
- 令和5年度においては、以下の取組により、公共施設の木材利用促進を行い、森林環境譲与税を活用した事業である旨を掲示することにより、普及啓発を行った。
 - ・ 八尾市立志紀図書館において国産木材を使用した木製書架及び木製長椅子を購入した。

□ 事業内容

公共施設の木質化

- ・ 八尾市立志紀図書館における木製書架及び木製長椅子の購入
（国産木材使用）

【事業費】2,444千円（うち譲与税2,444千円）

【実績】経年劣化に伴い使用できなくなった図書閲覧用ソファの更新と図書の配架スペースの拡充を図ることを目的に、書架と長椅子を購入するにあたり、国産木材を利用することで木材の利用促進を図った。

□ 工夫・留意した点

- ・ 長椅子については不特定多数の来館者が利用するものであること、また、書架については重量のある図書を収納・展示するものであることを踏まえ、傷がつきにくく耐久性が優れているナラ材を使用した。
- ・ 木材利用を促進するとともに森林保護の普及啓発を行うため、森林環境譲与税を活用した事業である旨を掲示した。

□ 取組の効果

- ・ 図書閲覧スペース・配架スペース不足の解消

□ 取組の背景

- ・ 経年劣化により図書閲覧用ソファが使用不能となっていた。
- ・ 利用者に見えやすく図書を配架できるスペースが不足していた。



（木製書架）



（木製長椅子）

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：28,128千円		②私有林人工林面積（※1）：96ha	
③林野率（※1）：11.6%	④人口（※2）：264,642人		⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より